

科 目 名

色彩論演習 Seminar on theory of colors
--

2年 前期 2単位 選択
(デザイン学科)

古 澤 伸一郎

概 要

スポーツや楽器の演奏などと同じように、デザインも「デザインすること」を繰り返さなければうまくはなりません。考え、手を動かして制作し、制作したものを冷静に見直すということの繰り返しが重要です。ここでは色彩の基本である、明度、彩度、色相の展開から始まり、色彩の応用を通してその機能について考え、その視覚表現の方法の可能性を、理解し、体感していただければと思います。

目 標

色彩論と色彩構成の基礎訓練を通してその理解と感性の表現

授業計画

テ ー マ	内 容
1 色彩論 I～III	色彩とは形に付随するもの、形とは色に付随するものと、プラト ンが言ったように、形と色を分けて捉えることはできない。だと すれば、ビジュアルデザインをコントロールすることは、色をコ ントロールすることに他ならない。ここでの色彩論と構成の勉強 を通して色が人間にどう見えているのかを知って、見せたい色、 感じさせたい色を出すことが出来れば、求める表現は自由に実現 出来るはずだ。色の世界をもっと勉強する為の課題を適宜出題し ます。
2 色彩構成 I～IV	

評価方法

テーマ作品の提出と出席

教 材

プリント配布

B3 パネル・デッサン用具一式 (スケッチブック F6 サイズ、クロッキー帖 F6 サイズ、鉛筆 (5H～
6B)、ネリゴムなど)

アクリルガッシュ・ポスターカラー・平筆・面相筆等、彩色用具一式